

地震防災マップについて

仙北市では、市民の安全と財産を守るために地震防災について、さまざまな取り組みをおこなっております。

その中で、今回、仙北市において地震発生時に予測される震度分布図として、ゆれやすさマップと地域の危険度マップを作成し、地震防災マップとして1枚にまとめました。

各家庭での住宅の耐震化のご検討や地震時の心得、家族間の連絡・避難場所などの確認などに活用ください。

地震防災マップとは

地震防災マップは、地震発生時に予測される震度分布図に、避難場所、病院などの防災に関する情報を表したマップです。自宅や学校、職場などで予測される震度や災害時の避難場所、家の安全性などを確認し、防災対策に役立てましょう。

地震防災マップを利用して防災意識を高めよう！

巨大な地震が発生すると建物が倒壊する被害が発生するだけでなく、その建物や家具の下敷きになるなどの人的被害が生じます。また、道路や電気、ガス、水道などのライフラインが寸断され、火災が発生するなど、大きな被害に発展する恐れがあります。阪神淡路大震災では、犠牲者の約8割以上が住宅などの倒壊による圧死といわれています。大きな地震から人命や財産を守るためには、住宅などの耐震化が必要です。地震に備えるためには、地域で発生する恐れがある地震、建物被害などの可能性を十分に理解し、防災に対する意識を高めることが重要です。

地震防災マップの内容

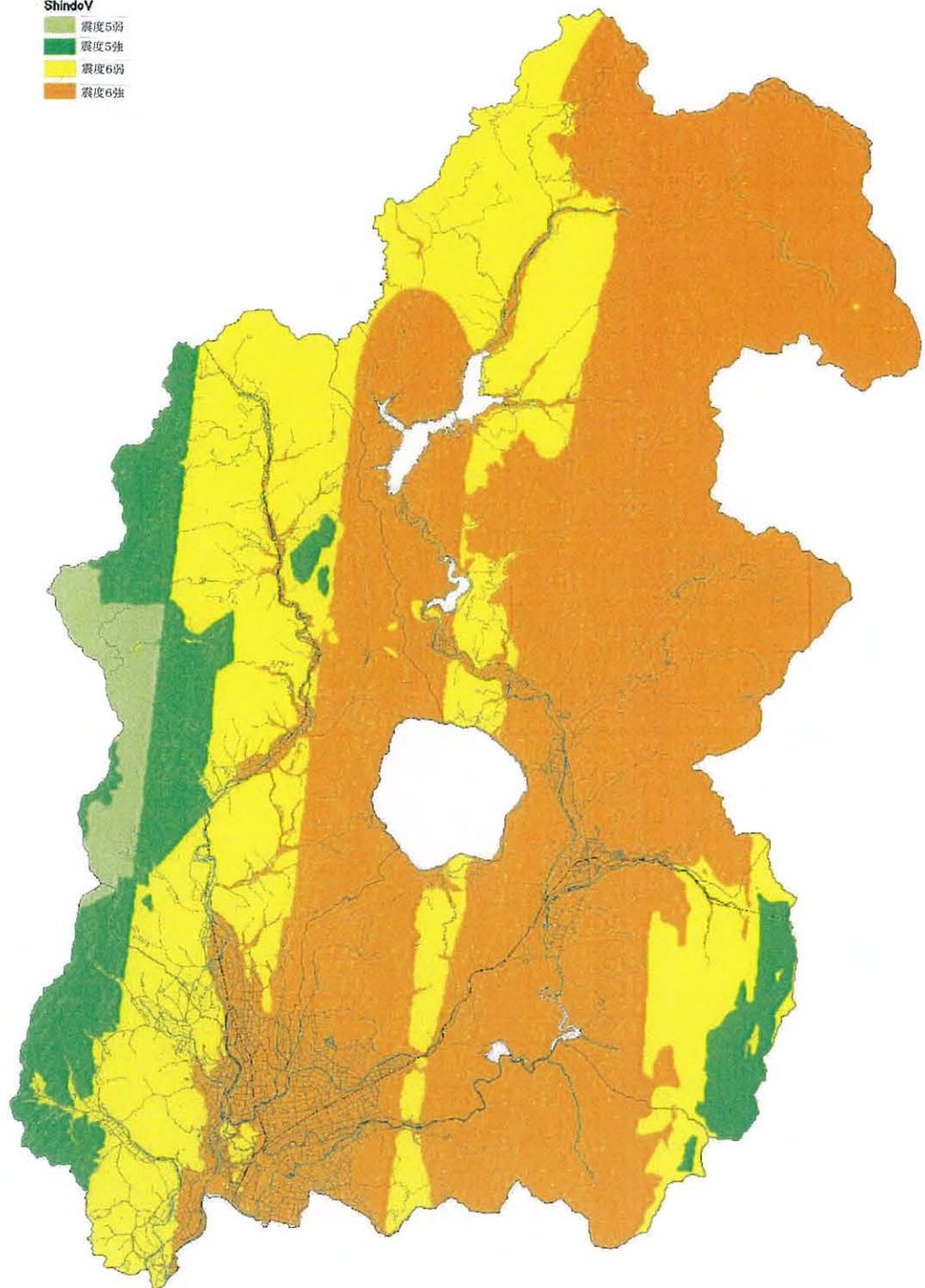
ゆれやすさマップ

「ゆれやすさマップ」とは、秋田県内陸部を震源とする地震（規模：マグニチュード7.2）が発生した場合に、市内各地域の地盤の状況から、地表のゆれやすさを震度として評価し、50メートルメッシュごとに表示した地図です。なお、ここで表示した震度は、地震の規模や震源からの距離に基づき予想される平均的な揺れの強さであり、地震の発生仕方によって、ゆれはこの地図に示した震度より強くなったり、弱くなったりすることがあります。

想定地震は、内閣府防災担当「地震防災マップ作成技術資料」（平成17年3月）に基づき設定しています。

凡例
想定地震の最大震度
ShindoV

- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強



0 5,000 10,000 15,000 20,000
メートル

地域の危険度マップ

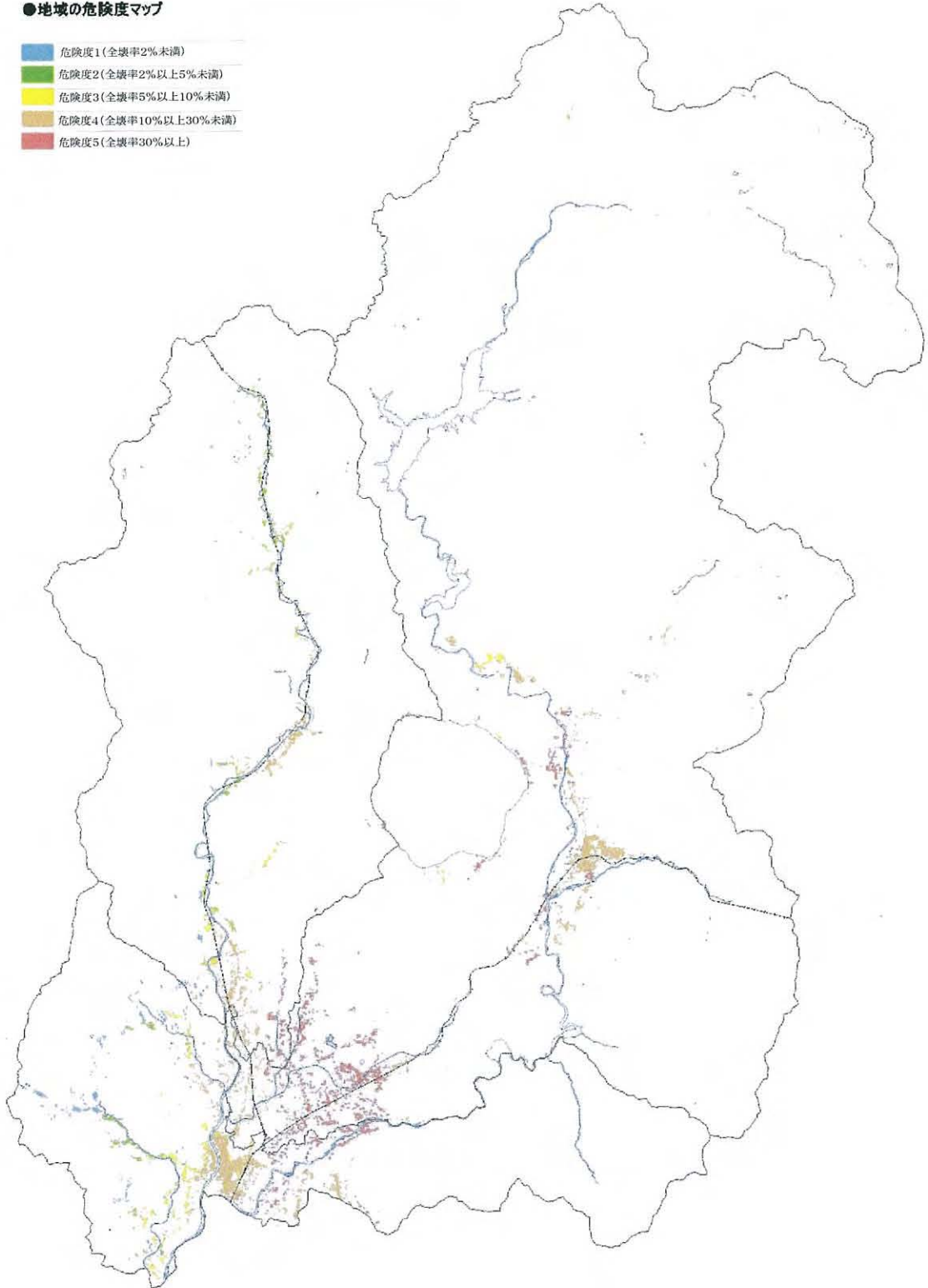
「地域の危険度マップ」とは、「ゆれやすさマップ」で示された地域ごとの震度や、建物の構造（木造・非木造の別）及び建築年次別の建物棟数の推計結果と、過去に生じた地震による建物の被害状況に基づく経験式から、50mメッシュ単位でメッシュ内の全壊する建物の割合（全壊率）を算出し、それを5段階で地域の危険度として示したものです。危険度が高い地域ほど、相対的に被害を受ける建物が多いことを示しています。

なお、実際には、地震に対する建物の強さは、個々の建物によって異なります。そのため、危険度が高い地域であっても、耐震性の高い建物は倒れにくく、反対に危険度が低い地域であっても老朽化の進んだ建物はより倒壊の危険性が高くなります。特に、建築されてから年数が経過した古い木造建物は、地震に弱い傾向がありますので、危険度が低い地域であっても、十分な注意が必要です。古い木造建築にお住まいの方は、耐震診断を受け、必要な場合は耐震改修工事を行うことをおすすめします。

凡例

●地域の危険度マップ

- 危険度1(全壊率2%未満)
- 危険度2(全壊率2%以上5%未満)
- 危険度3(全壊率5%以上10%未満)
- 危険度4(全壊率10%以上30%未満)
- 危険度5(全壊率30%以上)



0 5,000 10,000 15,000 20,000
メートル